

目標達成計画

作成日: 令和4年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 12 | 最近になって、やっと最低限の職員の確保が出来るようになったが実際にはまだ1名不足している。コロナで職員が陽性となった場合、他の職員が長期に渡り、勤務を続けなければいけない。実際には他からの応援要請が難しい。 | 職員に余裕を持つと言う事が難しいと言う事は自施設に限らず他の施設も同じ現状で有ると思うが、有事の際に応援を依頼できる人を少なくとも1名位は確保しておく必要が有る。 | 福祉避難所に登録したり、派遣応援の登録なども行っているが、簡単には行かない。現在はボランティアも受け入れを中止しているが、資格をもったボランティアに有事の際はお願い出来る様、そういった研修をやっていく必要がある。 | 12ヶ月 |
| 2 | 20 | コロナの問題で面会制限や外出制限を行っており一部の利用者では有るが子や孫などと会えない寂しさが有る。また、他の施設に比べ、面会等の制限は緩和しているが、家族自身が面会を自粛されてから随分と立つ。 | 県外の家族とも面会が出来、希望されれば自宅などへの外出も出来るようにする。 | コロナの状態です簡単には行かない部分がある。万一、利用者でコロナ感染が出たら相当の批判も覚悟しないといけないが利用者のQOLを保ちう為にどのような方法が良いか定期的な会議の中で模索していく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 3 | 元々地域との交流は少なく、火災訓練等にも地域を巻き込んだことを行わないといけないがコロナの問題もあり、参加をして貰えない事が多く、有事の際の地域の応援が受けられない可能性がある。 | 火災訓練、水害訓練、行方不明など訓練時にも地域の人も参加して貰える様、羞恥を図っていく。 | 運営推進会議等で説明を行い、訓練の時に1人でも2人でも参加して頂ける様チラシなども配布して行く。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。